

安全データシート

作成 2021年3月1日

1. 科学物質等および会社情報

化学品の名称 Z.EM.V
会社名 株式会社グローイングスタイル
住所 埼玉県上尾市上町1-1-12 和紗III 3F
電話番号 048-778-8719

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分

物理化学的危険性

酸化性個体 区分3

健康有害性

急性毒性（経口） 区分4

急性毒性（経皮） 区分5

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分3

眼に対する重篤な損傷性及び 区分1

皮膚感作性 区分外

特定標的臓器毒性（単回曝露） 区分3（麻酔作用性）

特定標的臓器毒性（単回曝露） 区分3（起動刺激性）

環境有害性

水生環境有害性（急性） 区分2

水生環境有害性（長期間） 区分外

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H272 火災助長のおそれ：酸化性物質
H302 飲み込むと有害
H316 軽度の皮膚刺激
H336 麻酔作用のおそれ
H335 気道刺激性のおそれ
H401 水生生物に毒性

注意書き安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。（P201）
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。（P202）
熱から遠ざけること。（P210）
衣類及び他の可燃物から遠ざけること。（P220）
粉塵を吸入しないこと。（P260）
取扱後はよく手を洗うこと。（P264）
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。（P280）
環境への放出を避けること。（P273）

応急処置

衣類に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぎまたは取り除くこと。
皮膚または、毛に付着した場合、流水またはシャワーで洗うこと。
(P303+P361+P353)
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当て求めること。(P332+P313)
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。(P363)
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
(P301+P312)
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
(P304+P312)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる時は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること、(P310)

保管

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
(P410+P403)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名または一般名 炭酸ナトリウム過酸化水素付加物、炭酸ナトリウムの混合物
別名 過炭酸ナトリウム、過炭酸ソーダ

| 化学名または一般名 | 官報公示番号 | | CAS番号 |
|-----------------|-------------|--------|------------|
| | 化審法 | 安衛法 | |
| 炭酸ナトリウム過酸化水素付加物 | (1) - 1 4 3 | 化審法と同じ | 15630-89-4 |
| 炭酸ナトリウム(無水) | (1) - 1 6 4 | 化審法と同じ | 497-19-8 |

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
皮膚を流水や又はシャワーで洗うこと。
皮膚を速やかに洗浄すること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤 水

特有の危険有害性 それ自身は燃えないが、支燃性である。
火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。

特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、周辺火災に応じて適切な空気呼吸器、
化学用防護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 作業着は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を
保護具及び緊急措置参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

封じ込め及び、 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
浄化の方法・機材 物質を吸い込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。
大量の場合、漏洩物の除去や廃棄処理は専門家の指示による。
少量の場合、漏洩区域を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項 取扱い後はよく手を洗うこと。
眼、皮膚につけないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。

接触回避 「10. 安全性及び反応性」を参照。

衛生対策 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件 容器は直射日光や火気を避けること。
換気の良い場所で保管すること。
燃焼性物質から離して保管すること。
特別に技術的対策は必要としない。
「10. 安全性及び反応性」を参照。

安全な容器包装材料 紙袋（クラフト、内側PEラミ加工等）
フレコンパック（外袋：PP、内袋PE等）

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

| | |
|---------|----------------------------|
| 物理的状态 | 固体 |
| 形状 | 粒状 |
| 色 | 白色 |
| pH | 10~11 (3%水溶液) |
| 比重 (密度) | 0.75~0.85g/cm ³ |
| 溶解度 | 約15.2g/100g水 (20°C) |
| その他 | 支燃性あり |

10. 安定性及び反応性

反応性 水に触れると発泡性あり。

化学的安定性 熱や分解を促進する物質との接触によって分解する。
吸湿や水漏れによっても分解が誘発、促進される。
熱がこもると分解が加速され急激に分解して高温に達することがある。
分解時は酸素ガス、水（又は水蒸気）及び熱を発生する。

危険有害反応可能性 水溶液は弱アルカリ性を示し、放置しておくくと徐々に分解して水と酸素ガスになる。

避けるべき条件 加熱、加湿
混触危険物質 重金属類及びその塩類、還元性物質、酸性物質、酸化されやすい有機物、可燃物、潮解性物質等。

危険有害な分解生成物 酸素、水（水蒸気）

11. 有害性情報

急性毒性

経口（根拠） LD50=1,034mg/kg（過炭酸ナトリウム）、4,090mg/kg
（炭酸ナトリウム）の値から計算式で求めた毒性推定値1,267mg/kgより
区分4とした。

経皮（根拠） LD50=2,000mg/kg（過炭酸ナトリウム及び炭酸ナトリウム）より
区分5とした。

皮膚腐食性 ニューージーランドホワイトラビットに対して0.5時間、24時間、48時間、
及び皮膚刺激性（根 72時間、96時間、7日間及び14日間の適用で、最も高い紅斑と浮腫の
スコア値が2であったと記載されている過炭酸ナトリウムに関する
情報に基づき区分3とした。

眼に対する重篤な損 6匹のウサギに対して反復性傷み、結膜の漂白/出血、角膜の
又は眼刺激性（根拠 剥がれが観察され、高刺激性と記載されている。また、48時間後に
1匹のウサギ、72/96時間後に6匹のウサギ全てに結膜の壊死が
見られた。以上の炭酸ナトリウムに関する情報に基づき区分1とした。

皮膚感作性（柁24匹のギニア豚に対して皮膚感作性がなかったとの記載
（Glaza 1990e EPA テスト）がある。

特定標的臓器毒 麻酔作用が区分3である炭酸ナトリウムを約23%含むため、
（単回ばく露）区分3（麻酔作用）とした。
気道刺激性が区分3である炭酸ナトリウムを約23%含むため、
区分3（気道刺激性）とした。

1 2. 環境衛生情報

環境有害性

水生環境有害性甲殻類（ミジンコ）48時間 EC50=4.9mg/L
（Shurtleff1989e EPAテスト）から、区分2とした。

水生環境有害性水中で穏やかに分解するため、区分外とした。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

大量の水で十分に希釈し、過酸化水素分を亜硫酸ナトリウム等で分解
し（過酸化水素はJISのCOD測定ではCOD値として検出される）、酸で
中和した後、廃棄する。
多量の製品あるいは高濃度水溶液が活性汚泥処理施設や河川等に
対して悪影響を及ぼす原因となるため、事前に過酸化水素分を分解
した後、酸で中和し、排水の排出基準（pH、COD等）に適合している
ことを確認の上廃棄すること。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の
基準に従って適切な処分を行う。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の
基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規則情報 IMOの指示に従う。

UN No. 3378

Proper Shippir Sodium carbonate peroxyhydrate

Class 5.1

Packing group III

Marine Polluta Not Applicable

Harmful Liquic Not Applicable

航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. 3378

Proper Shippir Sodium carbonate peroxyhydrate

Class 5.1

Packing Group III

Proper Shippir Sodium carbonate peroxyhydrate

Class 5.1

Packing Group III

国内法規

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
国連番号 3378
品名 過炭酸ナトリウム
国連分類 5.1
容器等級 III
海洋汚染物質 非該当
MARPOL 73/78 附 非該当
肩書 II 及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質

航空規制情報 航空法の規定に従う。
国連番号 3378
品名 過炭酸ナトリウム
容器等級 III

緊急事応急措置指針番号 140

15. 適用法令

水道法 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101）
消防法 非危険物

16. その他の情報

参考文献 1) SIDS Initial Assessment Report For SIAM20
2) SIDS Initial Assessment Report For SIAM15
3) Glaza 1990e EPA テスト
4) 日本ケミカルデータベース（株）
「化学品総合データベース」

その他

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。